



<CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

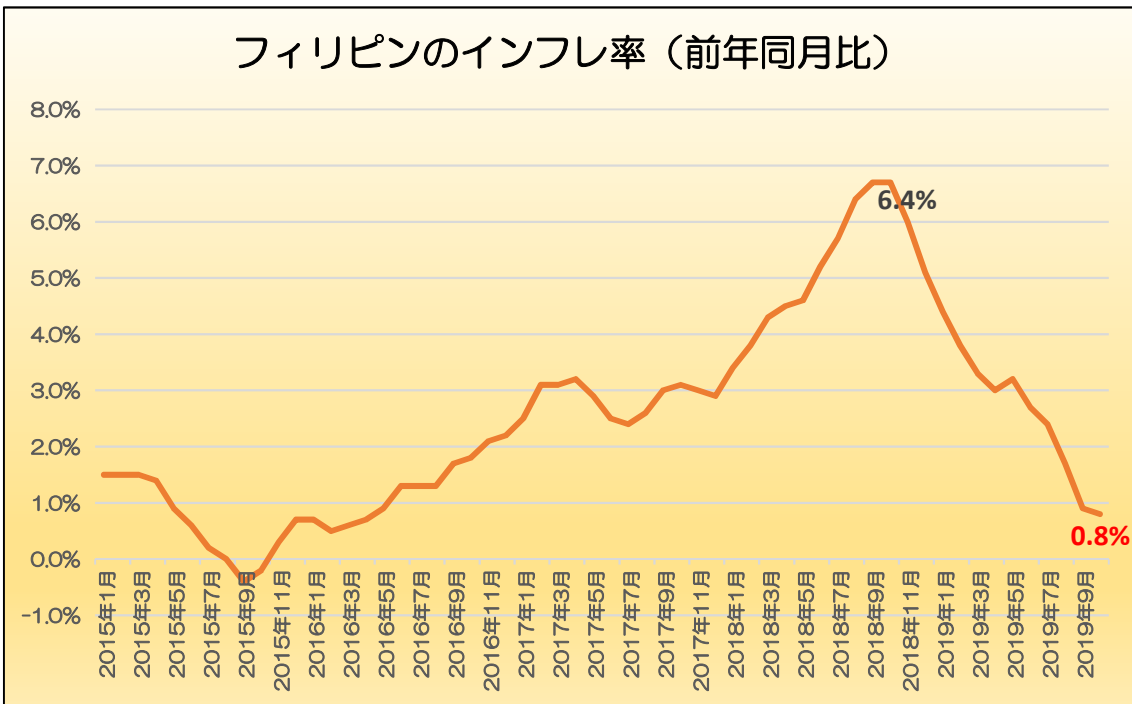
情報提供用資料

2019年11月6日

フィリピンの10月のCPI  
上昇率下げ止まらず

フィリピン統計局(PSA)が5日に発表した同国の10月のCPIは前年同月比+0.8%と低水準となった。6月以降5カ月連続で上昇率の下落傾向が続いている。

アルコール飲料・タバコは+16.5%と上昇をみせたが、食品(のみ)が-1.3%(食品・非アルコール飲料では-0.9%)、運輸も-1.7%と下落した。輸入制限が撤廃されたコメ関税化法により、コメ輸入量が増加しており、コメの価格を押し下げている。



出所：PSA のデータをもとにキャピタル アセットマネジメントにて作成

以上